



エル君

けんこう福袋



ビーちゃん

2022年

7月

第40号



ぬくもりの薬局

ラッキーバッグ株式会社

〒996-0021 山形県新庄市常葉町1-32
TEL. 0233-29-8177



ドクターアドバイス



たにむらクリニック

谷村 武宏 先生

(内科、外科)

甲状腺機能亢進症ってどんな病気？



“甲状腺って聞いたことはあるけど何をしているの？”という方は多いでしょう。簡単に説明すると『脳からの指令により身体を動かすためのホルモンを作っているところ』です。今回は甲状腺ホルモンが多すぎたら

どうなるか（機能亢進症）についてお話しします。

ホルモンが多すぎる＝必要以上に身体が動かされる（代謝が上がりすぎる）→例）常に100m走をしている状態。

暑がり、多汗、頻脈、息切れ、動悸、倦怠感などの症状が出ます。さらに続けると、体重減少、手の震えなどが出てくる人もいます。しかし亢進症の原因は一つではありません。

最も有名なのはバセドウ病です。これは脳の指令に似た



偽物（自己抗体）が作られてしまい、甲状腺に次々とホルモンを作らせてしまう病気です。機能亢進症の中では最も多くみられます。治療法は指令をブロックする抗甲状腺薬内服が中心で、治りにくい人は放射線内用療法、手術を選択することもあります。



次に亜急性甲状腺炎です。これは風邪の原因となるウイルス感染によって引き起こされると言われていて、触られたくないくらい前頸部が痛くなるのが特徴です。痛み止めやステロイドで治療します。

意外と多いのが無痛性甲状腺炎です。その名のとおり、痛くも痒くもないのが特徴です。橋本病の自己抗体を持っている方、出産後の女性、治療で分子標的薬や排卵誘発剤を使っている方などにみられます。自然に治ることが多いので経過観察が基本になります。

同じ機能亢進症でも全く治療が異なることが分かります。特に抗甲状腺薬は重篤な副作用が出ることもあるので、安易に処方してはいけません。的確な診断と治療を受けるためにも、専門医を受診してほしい理由がここにあります。

今月のテーマ

甲状腺の病気 受診から治療の流れ

甲状腺はあまりなじみのない臓器の1つだと思います。病気のことはちらっと耳にしたことがあるぐらいでしょうか。今回はなじみがないだけに受診のきっかけから治療までの流れを紹介します。

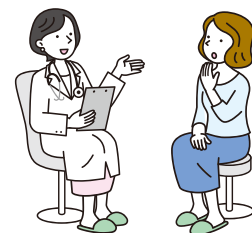
まず、甲状腺ホルモンのバランス異常が起こるとどうなるのでしょうか？

暑がり 動悸 頻脈 手のふるえ
息切れ かゆみ 体重の増加や減少
寒がり 疲れやすい 朝起きられない
眠気 むくみ だるい 髪の毛がぬける
喉がつかまる感じや違和感 首の腫れや痛み などの症状が起こることがあります。



今ではインターネットで検索するとある程度調べることができますが、症状が多岐にわたるためあらゆる診療科を経てようやく甲状腺専門医にたどりつく方も中にはいます。例えば①動悸を感じて内科に行ったら②喉が痛くて耳鼻科に行ったら③不妊治療を始めたら、

甲状腺の病気が疑われて専門医に紹介されることがあります。また、自覚症状はないのに健康診断で甲状腺の腫れを指摘されたことで受診する方もいます。このように甲状腺疾患は個人で判断するのが難しい病気です。



治療で使われる薬はメルカゾール、プロパジール、チラーチンなどがあります。医師は血液検査やエコー検査などの検査結果と症状を踏まえて厳密に服用量を決めています。服薬治療を継続することで体が楽になったと感じる方が多いですが、慣れてしまうと飲み忘れが多くなったり、薬を中止してしまう方がいます。自己判断で体がもとに戻ったと思ってもそれは薬の効果であり、それを中断することは体にとっては悲鳴を上げている状態なのです。

本当に薬が不要であれば、当然医師から中止の指示が出ます。時には甲状腺ホルモンのバランスが徐々にまたは急に変化する場合もあるので、決められた用量を決められた期間内で服用することが健康への一番の近道です。

クローバー薬局（薬剤師） 照井 玲子